

# 道徳通信

# みらいきらり

発行日 令和6年7月  
志賀町立志賀中学校

本校では道徳の授業において、学級担任だけではなく、担当学年の教員全員が授業を行っています。さまざまなテーマで生徒たちがつかみ、考え、議論し、認め合いながら深めていく道徳授業を推進していきます。

今年度も、授業の様子をこのお便りで紹介していきます。今回は3年生で行われた「Teacher Dohtoku Rotation」授業の様子です。※今回は、3年生のみ配付

## ★ 3年1組 ★

教材名: 礼儀正しさとは

テーマ: 礼儀

授業者: 金子先生



「礼儀正しさ」とは?



●「親しき仲にも礼儀あり」という言葉のように、いつでも、誰とでもその心を忘れないようにしたい。●相手を敬う事に意味があり、気持ちに応えるため、「礼儀を返す」ことを心がけたい。●礼儀において、自分の気持ちを態度で表し、相手に気持ちや感謝の意を伝えていきたい。●礼儀を重んじて生活することで、自分の心が磨かれていくと思った。●礼儀は、ただやれば良いのではなく、物事に対する姿勢や心を表現することが大切なのだと思った。●今日の授業を踏まえて、これまでできなかった礼儀について身につけられるようになりたい。●一つ一つの小さいことも感謝することで、相手も自分もうれしくなると思う。

き り と り

道徳教育に関するご意見・ご感想がありましたら、ご記入ください。今後の指導に生かしたいと思います。

お名前 ( )

学級担任までご提出ください。

## ★ 3年2組 ★

教材名: 小さな出来事

テーマ: 公正, 公平, 社会正義

授業者: 蛸島先生



「公正・公平って

社会にとって大切なものなのか。」



●作者が後になってちゃんと公正・公平の大切さを理解しているのがすごいと思った。●自分が不利な立場なのに、公正に人を思いやれることがすばらしい。●小さな出来事が人を成長させることもあるんだな。●法律には公正・公平なこともあるけど、時には自己主張も大切。●考え方は人それぞれだけど、公正・公平がなければ、悪い社会や不自由な生活になっていく。●全部を公正・公平にしたら、世の中が苦しく、不自由になる。

## ★ 3年3組 ★

教材名: 二通の手紙

テーマ: 遵法精神, 公德心

授業者: 木挽先生



「元さんがこの年になって

初めて考えさせられたことは？」



●その人の為に行動して、自分が不幸になるなんて、世の中皮肉だ。●結局、入園しにきたとき、どうするのが正解だったのか。目の前のことだけ考えていてもだめだ。●どんな善意であっても、遠くから見ると全く違って見える。●どんな規則にも定められたそれ相応の理由があり、自分の感情だけで考えていてはならない。●一時の優しさがメリットもデメリットにもなり得る。元さんは後に、本当の優しさとは何かを考えたと思う。